



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東  
 コード番号 2124 URL <http://corp.jac-recruitment.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 経営戦略本部長(氏名) 松園 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長(氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	18,893	9.5	5,103	12.2	5,109	11.5	3,632	13.5
2018年12月期第3四半期	17,246	42.3	4,549	5.5	4,580	6.1	3,199	5.0

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 3,550百万円( 7.1%) 2018年12月期第3四半期 3,315百万円( 8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	89.01	88.89
2018年12月期第3四半期	78.79	78.69

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	17,939	15,015	83.1
2018年12月期	18,725	13,942	74.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 14,909百万円 2018年12月期 13,863百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,226	5.0	5,860	5.9	5,863	5.3	4,112	5.2	100.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	41,292,000株	2018年12月期	41,292,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	422,309株	2018年12月期	628,783株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	40,807,821株	2018年12月期3Q	40,610,644株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済においては、8月の有効求人倍率は1.59倍と4月の1.63倍から低下が続いており、同月の景気動向指数速報では基調判断が「悪化」に下方修正されました。また、9月の日銀短観では大企業・製造業の景況が3期連続で後退するなど、景気悪化の懸念がより鮮明になっております。

当社グループの業績につきましては、中核の国内人材紹介事業は前年度第4四半期の好調な成約実績を反映し、当年度上半期の連結業績は売上高、利益ともに業績予想を上回る結果となりましたが、当第3四半期は製造業担当部門を中心に成長が鈍化いたしました。海外事業につきましても、多くの国の日系製造業領域において、国内人材紹介事業と同様の傾向が顕著に強まっております。

このような状況の中、国内人材紹介事業におきましては、各部署がマーケットの変化に注意を払いながら企業との接点を深め、社内での情報共有を徹底し、さらに注力求人を選別する「集中と選択」に取り組んでまいりました。また、海外事業に関しましても不採算支店などの整理、部署の統合、増員の見合わせなどの施策で利益重視のオペレーションを明確にし、経費の削減も進めました。しかし、期初の段階で想定された景況感の変化に対して製造業を中心とする顧客企業の採用姿勢は時を迫って慎重さを増していき、その変化は当社グループの業績にも反映される結果となりました。このため、当期の通期連結業績予想につきましては、2019年11月8日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」におきまして、2019年2月12日開示の同予想を修正いたしました。なお、当期の配当予想につきましては修正しておりません。

今後の国内人材紹介事業と海外事業につきましては、各マーケットの事情に合わせた運営をしていくため、コンサルタントの適正配置とマネジメント強化を速やかに進めてまいります。また来期を見据えて、まずは利益の確保を最優先に財務基盤を堅持することを念頭に、引き続き十分な株主還元を可能とする事業態勢を目指してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は18,893百万円(前年同期比9.5%増)となりました。セグメント別売上高は、国内人材紹介事業が16,315百万円(同16.7%増)、国内求人広告事業が263百万円(同12.5%増)、海外事業が2,314百万円(同23.8%減)となっております。

利益面では、営業利益は5,103百万円(前年同期比12.2%増)、経常利益は5,109百万円(同11.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,632百万円(同13.5%増)となりました。セグメント別損益は、国内人材紹介事業が5,083百万円(同13.7%増)、国内求人広告事業が13百万円(前年同期は△29百万円)、海外事業が△5百万円(前年同期は140百万円)となっております。

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同期比(%)
国内人材紹介事業	16,315	116.7
国内求人広告事業	263	112.5
海外事業	2,314	76.2
合計	18,893	109.5

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高（百万円）	前年同期比（％）
1. 国内人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	6,002	109.3
消費財・サービス業界	3,932	115.4
メディカル・医療業界	2,794	132.1
I T・通信業界	2,055	120.9
金融業界	1,490	120.5
その他	40	180.9
国内人材紹介事業 計	16,315	116.7
2. 国内求人広告事業		
国内求人広告事業 計	263	112.5
3. 海外事業		
海外事業 計	2,314	76.2
合 計	18,893	109.5

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金981百万円減少、ソフトウェア491百万円増加、ソフトウェア仮勘定443百万円減少等により、前連結会計年度末に比べて785百万円減少の17,939百万円となりました。

負債につきましては、未払費用1,606百万円減少、未払法人税等876百万円減少、賞与引当金612百万円増加等により、前連結会計年度末に比べて1,859百万円減少の2,924百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益3,632百万円、剰余金の配当2,683百万円、自己株式の減少180百万円等により、前連結会計年度末に比べて1,073百万円増加の15,015百万円となり、自己資本比率は83.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、中核となる国内人材紹介事業においては景況感後退の影響を受けて製造業担当部門を中心に期初の予想を下回る進捗となりました。海外事業につきましても日系製造業領域においては国内人材紹介事業と同様の傾向が顕著に強まっております。現時点における事業の進捗状況及び成約状況からの推定では10～12月に関しても同様の推移が予想されることから、2019年2月12日付「2018年12月期決算短信[日本基準](連結)」で開示いたしました2019年12月期通期の連結業績予想を修正することとなりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,586	8,605
売掛金	1,331	1,668
貯蔵品	5	1
前払費用	244	293
その他	110	116
貸倒引当金	△21	△19
流動資産合計	11,257	10,664
固定資産		
有形固定資産		
建物	362	392
減価償却累計額	△200	△207
建物(純額)	161	185
機械及び装置	27	36
減価償却累計額	△10	△15
機械及び装置(純額)	16	20
車両運搬具	0	0
減価償却累計額	△0	△0
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	443	421
減価償却累計額	△347	△333
工具、器具及び備品(純額)	95	88
リース資産	6	6
減価償却累計額	△4	△4
リース資産(純額)	2	1
その他	—	297
有形固定資産合計	276	593
無形固定資産		
のれん	2,034	1,835
ソフトウェア	87	579
ソフトウェア仮勘定	575	131
無形固定資産合計	2,697	2,546
投資その他の資産		
投資有価証券	2,904	2,904
出資金	0	0
敷金及び保証金	789	754
破産更生債権等	3	3
長期前払費用	—	5
繰延税金資産	800	470
長期未収入金	9	15
貸倒引当金	△13	△19
投資その他の資産合計	4,494	4,135
固定資産合計	7,468	7,274
資産合計	18,725	17,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
リース債務	1	1
未払金	463	277
未払費用	2,206	599
未払法人税等	1,149	272
未払消費税等	453	322
預り金	172	183
前受収益	81	81
賞与引当金	—	612
役員賞与引当金	—	11
株式給付引当金	181	166
解約調整引当金	72	82
災害損失引当金	—	11
その他	—	131
流動負債合計	4,782	2,753
固定負債		
リース債務	0	—
その他	—	170
固定負債合計	0	170
負債合計	4,783	2,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	1,569	1,569
利益剰余金	12,201	13,150
自己株式	△550	△369
株主資本合計	13,840	14,969
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	22	△59
その他の包括利益累計額合計	22	△59
新株予約権	79	105
純資産合計	13,942	15,015
負債純資産合計	18,725	17,939

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	17,246	18,893
売上原価	1,666	1,338
売上総利益	15,580	17,554
販売費及び一般管理費		
役員報酬	419	428
給料及び手当	5,574	6,174
法定福利費	840	888
株式報酬費用	26	26
退職給付費用	137	212
賞与引当金繰入額	595	612
役員賞与引当金繰入額	7	11
株式給付引当金繰入額	138	164
貸倒引当金繰入額	1	3
地代家賃	701	774
減価償却費	108	281
のれん償却額	141	138
広告宣伝費	809	954
その他	1,527	1,779
販売費及び一般管理費合計	11,031	12,451
営業利益	4,549	5,103
営業外収益		
受取利息	14	16
為替差益	8	—
その他	8	5
営業外収益合計	32	22
営業外費用		
支払利息	0	9
為替差損	—	4
貸倒損失	0	—
その他	0	3
営業外費用合計	0	16
経常利益	4,580	5,109
特別損失		
固定資産除却損	0	7
災害損失引当金繰入額	—	11
特別損失合計	0	18
税金等調整前四半期純利益	4,580	5,090
法人税、住民税及び事業税	1,260	1,129
法人税等調整額	120	328
法人税等合計	1,381	1,458
四半期純利益	3,199	3,632
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,199	3,632

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,199	3,632
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	115	△82
その他の包括利益合計	115	△82
四半期包括利益	3,315	3,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,315	3,550
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首から「リース」(IFRS第16号)を適用しております。当該会計基準の適用に伴い、当第3四半期連結貸借対照表において有形固定資産のその他が297百万円、流動負債のその他が131百万円、固定負債のその他が170百万円それぞれ増加しております。なお、当第3四半期連結損益計算書への影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	13,974	234	3,037	17,246	—	17,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	11	6	30	△30	—
計	13,987	245	3,043	17,276	△30	17,246
セグメント利益又は損失(△)	4,470	△29	140	4,580	—	4,580

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。  
 2. 国内求人広告事業の報告セグメントにはのれん償却額2百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額139百万円が、含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,315	263	2,314	18,893	—	18,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	13	1	26	△26	—
計	16,326	277	2,315	18,920	△26	18,893
セグメント利益又は損失(△)	5,083	13	△5	5,090	—	5,090

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。  
 2. 国内求人広告事業の報告セグメントにはのれん償却額2百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額136百万円が、含まれております。